

2023年3月30日
株式会社三菱UFJ銀行

三菱地所株式会社で「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一（以下、当行））は、三菱地所株式会社（執行役社長 ^{よしだ じゅんいち} 吉田 淳一（以下、同社））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション^[1]（以下、LMA）等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるローン契約（以下、本契約）を、本日締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

【サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット】

KPI	再生可能エネルギー由来の電力比率
SPT	2025年度に再生可能エネルギー由来の電力比率 100%を達成

同社は、持続可能な社会の実現を目指した事業を推進するため、2050年のサステナビリティ経営を見据えた「三菱地所グループのサステナビリティビジョン2050」を制定しております。2020年1月に発表した「長期経営計画2030」においても、このビジョンを達成するための具体的なテーマとアクションを定めるマイルストーンとして『三菱地所グループの Sustainable Development Goals 2030』を定めております。2022年3月には「2050年ネットゼロ宣言」を掲げており（同年6月にSBTiよりSBTネットゼロ認定取得済）、気候変動問題に関して具体的な数値目標を設定して取り組むこととしています。

【本件ローンの概要】

<案件①>

実行日 : 2023年3月30日
融資期間 : 4年
金額 : 150億円
資金使途 : 事業資金

<案件②>

実行日 : 2023年3月30日
融資期間 : 5年
金額 : 150億円
資金使途 : 事業資金

また、本契約では、株式会社日本格付研究所（JCR）より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPT の合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献して

まいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。
英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に65ヶ国以上約800機関が加盟。

以 上